

## 研修医の手記

藤井 裕里



はじめまして。

市立釧路総合病院で1年目初期臨床研修医としてお世話になっております、藤井裕里と申します。

私は神奈川県横浜市出身です。

大学6年間は札幌で過ごし、北海道の自然と食に惚れ込んで、卒業後も引き続き北海道で生きる道を選びました。とりわけ、釧路は新鮮な海の幸が非常に豊かでどこで何を食べてもおいしく、海からの潮の香りを含んだ風が故郷の横浜にも似ていて、毎日楽しく過ごしております。

また、阿寒や釧路湿原に知床半島といった世界有数の自然環境に囲まれており、休みの日は登山にカヤック、キャンプと、アウトドアに大忙しです。

一方で、自然豊かで広大な大地であるがゆえに、医療へのアクセスが万全ではなく、遠く離れた地域から当院を受診される患者さんも多くいらっしゃいます。このため、様々な疾患に対する治療を勉強させていただく機会にもなっていると感じております。

このような研修医としては恵まれた環境の中で、たくさんの患者さんやコメディカルの皆さん、先生方のご協力に支えられて、日々、経験を積んでいます。

道東地域の医療を支える最後の砦としてたくさんの人が奔走しておられる姿を胸に刻み、2年間の研修医生活を通して、医師としてだけでなく一人の人間として成長するとともに、少しでも地域の皆さんの健康に貢献できたらと考えています。何卒よろしくお願いいたします。

## エキスパートナース紹介 Part.23



糖尿病重症化予防フットケア担当の影山久美子です。

私は2019年7月にフットケア研修を受講しました。

現在はフットケア外来（月1回）で、当院通院中の糖尿病患者さんのうち「糖尿病性神経障害」「閉塞性動脈硬化症」「下肢や足趾切断の既往」「足の潰瘍」があり、セルフケアが困難な方の足について、異常の早期発見、早期治療ができるよう、観察やケアのお手伝いをしています。

また、足の洗い方、皮膚の観察の方法、爪の切り方、保湿ケアのしかた、靴の選び方など、患者さんの生活に合わせたセルフケアの方法をお伝えする活動をしています。

外来での活動のほか、入院中の患者さんを対象に、足浴や肥厚爪の爪切りなどを行ったり、病棟スタッフに必要なケアについて指導しています。

患者さんが自分の足に関心を持ち「いくつになっても自分の足で歩けること」を目標にセルフケアができるよう、ケアの大切さをお伝えする活動を続けていきたいと思っております。

糖尿病重症化予防フットケア担当看護師 影山 久美子



## ごあいさつ



市立釧路総合病院 院長

高平 真

明けましておめでとうございます。

新型コロナウイルスとの戦いも、とうとう3年目に入りました。長い戦いに、私たち医療従事者のストレスや疲弊は計り知れません。

このようなコロナ禍でも、国は「医師の働き方改革」「地域医療構想」「医師偏在対策」を三位一体改革として進めていくようです。その上、外来医療の在り方や新興感染症対策など、盛りだくさんのメニューを一気に次期医療計画に策定する予定です。特に医師の働き方改革や外来医療の見直しなどは、地域医療に大きな影響が出る懸念されます。

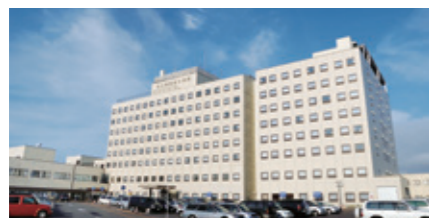
しかし、今回の戦いの中で唯一得た大きな教訓は「地域の医療は地域で守る」ことです。私たちは地域の各医療機関、医師会、保健所、行政、介護、福祉などと、さらなる連携強化に努めることが最重要と考えます。その上で、先が見えないコロナウイルスとの戦いの中でも高度医療や救急医療など地域の基幹病院として機能を維持することが、当院の使命と考えています。

今後も、患者の皆さんのご協力を仰ぎながら当院職員一丸となって感染防御を徹底し、地域の医療を守っていく所存です。重ねまして、関係各位のご理解とご協力をお願いいたします。

## 理念「信頼と満足の創造」

## 経営方針

- 十分な説明のもとに患者の意思を尊重し、患者中心の医療を行います。
- 地域完結医療を目指し、高度医療・救急医療を充実します。
- 地域医療を支援するため、病診連携を密にします。
- 心温かな質の高い医療サービスを実践するため、日々研鑽します。
- 良識と協調性のある医療人として、意欲と誇りの持てる職場環境づくりに努めます。



## 市立釧路総合病院

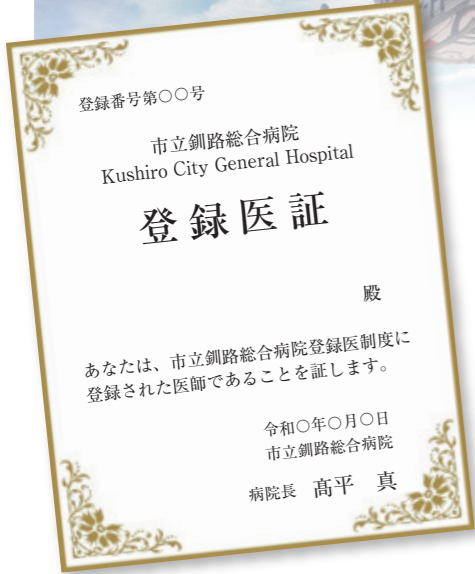
発行責任 広報委員会

〒085-0822 釧路市春湖台1番12号

TEL(0154)41-6121・FAX(0154)41-6511



### 地域医療支援病院の承認を受けました！



当院は釧路根室地域医療圏における基幹病院として、救命救急センターをはじめ、ドクターヘリ基地病院、地域がん診療連携拠点病院等、様々な機能を有しつつ、また、ICTを活用したネットワーク連携においても、ネットワークの拡大を推進する等、日々、職員一丸となって安心できる地域医療の提供を目指しています。

釧路市医師会、根室市外三郡医師会を中心とし、急性期病院や有床病院、クリニックの皆様からも心強いご支援、ご協力をいただき、今日まで連携を進めてくることができました。

そんな中、当地域でも進められている地域医療構想に基づき、医療の機能分化をより明確にし、かかりつけ医からご紹介いた

だいた高度医療を必要とする患者様に即応していくために、当院の役割はどうあるべきか？という検討を重ねた結果、新たに地域医療支援病院の申請を行い、北海道内では18番目の承認を受けました。

今後も、かかりつけ医のみならず積極的にご紹介をいただき、当院で一連の治療が終了し安定となった患者様につきましては、ご紹介いただいたかかりつけ医へ再度のご紹介を進めていきます。

また、従来実施している当院CT（256列：64列：16列）及びMRI（1.5テスラ：3.0テスラ）の積極的な共同利用（利用後、近日中にデータ・読影送付）や、地域の医療従事者に対する積極的な研修会へのご案内を行っていきます。

始動したばかりですので、現在、当院の登録医件数はまだ少ないのですが、釧路根室管内のみならずご意見をいただきながら拡張していく予定です。

今後とも、忌憚のないご意見を皆様からいただきながら地域連携の充実、研鑽に努めますので、ご協力をお願いいたします。

### 地域医療支援病院の役割



### 無痛分娩をはじめました

産婦さんのニーズに寄り添うために...

2020年の特殊出生率は1.34と、出生数は減少の一途を辿っています。当院も例に漏れず分娩数は年々減少していますが、それに伴い、女性にとって一大イベントである分娩へのニーズは多様化しています。

無痛分娩もそのニーズの一つです。ニーズに応えるべく、当院でも2021年12月の分娩予定者より無痛分娩を開始することになりました。無痛分娩に備え、医師、助産師ともに7月から道内先進病院で研修させていただき、またER、手術室と合同で緊急対応シミュレーションを定期的に行っています。大切な二つの生命を預かっている使命を忘れず、安全最優先、慎重に取り組んでいきたいと考えています。

既に無痛分娩を体験した産婦さんの例からは、分娩中の疲労が少ないことから育児に集中できている印象があります。体力的、精神的負担が少なく分娩でき、高齢出産の方にもメリットがあります。

痛みに耐えて自然に産むも、医療の力を借りて産むもよし、分娩のあり方を選ぶことができる時代になりました。妊娠中から産後まで切れ目なく妊婦さんに寄り添い、満足していただけるよう全力でサポートしていきます。

また、既存の病室を少しだけリニューアルし、11月から産科入院の方には個室としてお使いいただけるようになりました。分娩の疲れを癒しつつ、ゆったりしっかり育児できる環境を心がけていきます。



コロナ禍で入院治療をする方の力になりたい...

### ZOOMを利用したオンライン面会について

新型コロナウイルスの影響で、現在、入院患者さんへの面会を禁止させていただいております。

面会禁止の期間中、患者さんにご家族が少しでもお話しいただけるように、職員がタブレット端末を患者さんのところまでお持ちし、ZOOMを利用してご家族と面会していただくサービスを行っています。（事前予約制）



ご利用いただいたご家族からは「入院してから会えずに心配でしたが、久しぶりに顔を見ながら声を聴くことができ様子がわかり、とても安心しました。」などの感想をいただきました。患者さんもタブレットの中のご家族に会うと本当に嬉しそうな表情になります。

入院中に離れて過ごす患者さんにご家族の気持ちを支えるツールとしてお使いいただいております。

### マイナンバーカードの保険証利用開始について

当院では、令和3年12月1日からオンライン資格確認がスタートし、マイナンバーカードの保険証利用はもちろんのこと、特定健診情報や薬剤情報も本人の承諾のもと、閲覧が可能になりました。

